

公表

## 児童発達支援 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和6年11月26日		～ 令和6年12月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和6年11月18日		～ 令和6年11月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月2日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども一人ひとりの特性をしっかりと把握して 子どもたちそれぞれに合った支援が行われている	・家庭的で子ども達が安心して通うことが出来る ように一人ひとりに寄り添って関わることをスタッ フ全員で心がけている	・職員間でその日の様子を話し合い、情報共有 して把握しながら支援するようにしている
2	・日々の支援プログラムが充実している	・子ども達が楽しめるように、またステップアップ できるようなプログラムを計画している	・職員間で話し合い、みんなでアイデアや情報を 提供しながらプログラムを考えていく
3	・SNSを活用して子ども達の日々の様子や事業所の 取り組みやイベントの様子を細やかに発信している	・ご利用者様や同業者、一般の方など幅広くたくさ んの方が見て頂けるように楽しく分かりやすく、正 確な情報が伝わるように心がけている	・職員間でその日の様子を話し合い、情報共有 して把握しながら支援するようにしている

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・スペースが十分に確保出来ていない	・学習室とプレイルームは分かれているが人数が 多くなると狭さを感じる	・イベントなどで全員がプレイルームに集まる時 はマットを壁際上げる、棚を移動するなどして 活動出来る十分な広さを確保する
2	・他の園との交流がない	・他事業所との交流がほとんどなかった	・チャイルドハートやまぐち・チャイルドハート おうちとの合同イベントを計画する
3	・保護者会などで保護者同士の交流が少ない ・きょうだい同士の交流の機会が少ない	・保護者会の開催が少なかった ・兄弟児が参加できるイベントを計画したが 曜日の関係で参加が困難だった	・保護者が参加できる講座や講演の機会を 設けていきます

公表

## 放課後等デイサービス 事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハート宇部		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 11 月 26 日		～ 令和 6 年 12 月 7 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和 6 年 11 月 18 日		～ 令和 6 年 11 月 29 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6 年 12 月 2 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども一人ひとりの特性をしっかりと把握して 子どもたちそれぞれに合った支援が行われている	・家庭的で子ども達が安心して通うことが出来る ように一人ひとりに寄り添って関わることをスタッ フ全員で心がけている	・職員間でその日の様子を話し合い、情報共有 して把握しながら支援するようにしている
2	・日々の支援プログラムが充実している	・子ども達が楽しめるように、またステップアップ できるようなプログラムを計画している	・職員間で話し合い、みんなでアイデアや情報を 提供しながらプログラムを考えていく
3	・SNSを活用して子ども達の日々の様子や事業所の 取り組みやイベントの様子を細やかに発信している	・ご利用者様や同業者、一般の方など幅広くたくさ んの方が見て頂けるように楽しく分かりやすく、正 確な情報が伝わるように心がけている	・職員間でその日の様子を話し合い、情報共有 して把握しながら支援するようにしている

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・スペースが十分に確保出来ていない	・学習室とプレイルームは分かれているが人数が 多くなると狭さを感じる	・イベントなどで全員がプレイルームに集まる時 はマットを壁際に上げる、棚を移動するなどして 活動出来る十分な広さを確保する
2	・他の園との交流がない	・他事業所との交流がほとんどなかった	・他事業所、チャイルドハートやまぐち・ チャイルドハートおうちとの合同イベントを 計画する
3	・保護者会などで保護者同士の交流が少ない ・きょうだい同士の交流の機会が少ない	・保護者会の開催が少なかった ・兄弟児が参加できるイベントを計画したが 曜日の関係で参加が困難だった	・保護者が参加できる講座や講演の機会を 設けていきます

公表

児童発達支援 事業所における自己評価結果

事業所名		チャイルドハート宇部		児童発達支援		公表日		令和 7 年 2 月 3 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9						
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	4		・視覚的に活動のルーティーンを絵で貼ったりする等環境設定している。・出入口が階段。2階にあるのでできることが限られる。2階というところでバリアフリーではない。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		・ 帰る前に掃除の時間を設けてみんなで清潔に気を付けている。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		・ 必要に応じて部屋を移動、パーテーションで仕切るなど空間を分けられるようにしている。・ 落ち着くための部屋があり子ども達がそこで落ち着いている・ 落ち着くための部屋を設置しており、自由に使えるようにしている。				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		・ 活発に意見交換し合える空気で風通しの良い環境だと思う。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・ 保護者の方からの言葉を常に療育の中に取り入れ改善に努めることができている。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・ 立場、役職関係なくとても話しやすい職場で職場であると思う。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3		・ 第三者による外部評価をしているのかもしれないが、誰がいつ行っているのかは知らないのでもらって欲しい。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9						
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9						
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・ みんなで意見を出し合って情報共有を行っている。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		・ 月に1度必ずインフォーマルなアセスメントを使用し、確認している。				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9						

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9			・イベント表を作成し、固定化しないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1		・仕事終了後、毎日難しくても時間を見つけて行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	2			
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	3			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	3		・公園などでまれに活動を共にしている。		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9					
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9					
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9					
	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9					

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9			

公表

## 放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果

事業所名	チャイルドハート宇部	放課後等デイサービス			公表日	令和 7 年 2 月 3 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2	・十分に確保されている	・居室が少なく狭い ・人数に対して狭く感じる
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	4		・出入口が階段・バリアフリーになっていない。(事業所が2階にあるため、出来ることが限られている)
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	・最後は毎日皆(スタッフと子ども達)で、掃除し、翌日もまた気持ちよく過ごせるようにしており、朝も必ずチェックし、定期的に普段あまりキレイにできないところも気を付けて掃除・整理している。	・人数が多い日はのびのびと過ごせない
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		・いつでも子どもが使える場所に落ち着くための部屋を設置し、利用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3		・第三者による外部評価をいつ、誰が行っているか知らないで知らせて欲しい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		・その都度、子どもの成長や課題に合わせて適切に対応できている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		・月に一度は必ず子ども一人ひとりに対してインフォーマルなアセスメントを使用し、確認を行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・常に最善を意識して固定化しないように努めている・イベントを作成し、毎週大まかなイベントを立てた上で、担当を決めて、偏りがないように工夫して活動している		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			・子どもが来所する前に、ミーティングで本日のイベントや役割分担を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1		・毎日は無理な事もあるが、時間を見つけて共有している。・気が付があれば直ぐに情報共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9			・イベントを重ね合わせたり、毎日のルーティーンを重ねて支援している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9			・イベントへの参加はできるだけ促しているがどうしても参加したくない時は無理強いしないようにしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9			・常に情報の把握に努めている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2			・まだ前例がない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	2			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	5		・公園などに出席した際、まれに活動を共にしている。	・時間内に交流するのは、流れからいっても無理がある（お互いに）
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9				
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9				
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9				
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			・丁寧に伝え、保護者の方の意見や気が付きも積極的に伺い出している。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9				